

東京スカイツリー開業1周年 墨田区 特集

“周辺”“沿線”を売る

東武トラベル 日光・鬼怒川など

東武トラベルは、東京スカイツリーの唯一のオフィシャルトラベルエージェンシーだ。東武グループの旅行会社として、東京スカイツリーだけでなく、地元墨田区や周辺エリア、そしてとうきょうスカイツリー駅と結ばれる日光や鬼怒川温泉など東武鉄道沿線の観光地への送客も強化している。



東京スカイツリー関連の商品/パンフレット

今年、東京スカイツリーを力を入れていくのは、関西圏の人々の目を日光、鬼怒川に向けさせるツアー。昨年の関西圏向けの展開は往復の新幹線と東京スカイツリー展望デッキ日付指定入場券引換券をセットにした商品のみ。今年はこのほか、日光・鬼怒川温泉での宿泊と交通、日光東照宮の観光などを加えた。東武トラベル、スカイ営業推進部は、スカイツアーの伊丹信夫課長は、「この地域に初めての方もスカイツリーと日光、鬼怒川を1泊2日で効率よく楽しめる。から57軒に拡大。『より多くの送客を確保する』を吸収して、『伊丹スカイツリーの来場客を全国に拡大する』を目標に、今年度は東武トラベルの協定会員の元で送客の拡大を図る。海外でのスカイツリーの認知度も高まっている。今後は台湾、香港、マレーシアなど東南アジアからの訪日旅行の販売促進にもつなげたい考えだ。

はとバス

1年間に24万人送客
平均乗車率は91%

はとバスは東京スカイツリー開業以来、1年間で24万人を送客してきた。ホテルでの食事や観光を組み合わせた展望台入場付きツアーは、平均乗車率91.1%で、連日ほぼ満席が現在も続いている。今年1月からは、英語で案内する1コースを追加し、全部で17コースを運行している。

はとバスのスカイツリー展望コースの1年間の乗車率の推移は図表の通り。昨年7月に個人入場の当日券が販売開始され、利用人員の減少が懸念されたが、利用者が減少することなく高水準を維持した。8月には、1年間で最も多い2万4332人が乗車し、乗車率は99.1%の最高値に達した。1月からは外国人の利

開業1年間のデータ

	12年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13年1月	2月	3月	4月	合計
乗車人数	6,624	20,862	19,661	24,332	22,125	23,894	23,480	21,904	18,250	17,003	23,311	22,910	244,356
乗車率	97.8	98.8	94.5	99.1	94.2	98.7	98.8	91.5	77.2	76.7	89.6	76.7	91.1
全コース乗車人数	23,964	70,121	66,274	78,416	71,391	93,309	100,312	66,055	49,664	45,048	88,753	80,935	834,242
全体に占める割合	27.6	29.8	29.7	31.0	31.0	25.6	23.4	33.2	36.7	37.7	26.2	28.3	30.0

※5月は開業日22日から10日間のデータ
※月ごとにツアー数は異なるが東京観光ツアーは毎月約100コースを運行

東京の夜景が楽しめる少し贅沢な夜コース

スカイビューダイニング「THE Sky」と夜景の東京スカイツリー展望デッキ

ホテルニューオタニの回転展望レストランで、360度広がる夜景を眺めながら、バイキングが楽しめる、少し贅沢な夜コース

1人も人気。スカイツリーが最後の降車箇所なので、離陸して展望回廊を目指す人や、ラマチに出かける人も。大人1万1900円、中人1万1470円、子ども6460円。

下町観光とスカイツリーが楽しめる、人気No.1コース

東京スカイツリー展望デッキと隅田川12橋めぐり

1番人気のスカイツリーコースは、浅草観音や仲見世と隅田川遊覧船が楽しめるもの。遊覧船からスカイツリーを眺められることで人気のようだ。風情ある下町の散歩と最先端の展望が一度に堪能できる。昼食は東武ホテルレバノンで、大人9980円、中人9550円、子ども4900円。

新イメージガールが決定
4代目は高田桃衣さん

高田桃衣さん
愛知県出身の22歳。趣味は料理とピアノで、乗馬と水泳が得意。今後同社グループのパンフレットやポスターで専属モデルを務めるほか、テレビ取材への対応と各種イベントへ出演する。

年配向けの変わり種コース
プロ歌手のミニライブ付き

東京スカイツリー展望デッキ&「ボニー・ジャックス」と唄おう!!懐かしい歌のひろば

「手のひらを太陽に」など知られる男性ボニージャックスのミニライブやトークショーがセットになった変わり種コースに注目。スカイツリーには行ってみたいが、観光はなにもいという60〜70代の年配に人気だ。ライブにも心奪われるなど、ふれ合いも楽しい。大人1万1800円、6月25日まで。

墨田区観光協会



北十間川にかかるの橋。源兵衛橋として作品に登場する

街歩きツアー

東京墨田区は名所や旧跡が点在し、街歩きが楽しめる。墨田区観光協会は、地域の魅力をより深く知ってもらおうと、観光ガイドが案内する街歩きツアーを企画している。人気が高いのは、池波正太郎の時代小説「鬼平犯科帳」をテーマにした街歩きツアー。物語に基づいてコースを企画し、作品を読み込んだ観光ガイドが解説を加える。参加者は、いっしょに作品の世界へと誘われる。

鬼平の世界に誘う 物語の舞台を紹介

鬼平犯科帳は、盗賊を撃つのが得意な短編作家の長谷川町子と長谷川町子、テレビドラマや演劇平蔵を主人公とする人気。東京スカイツリーがあの火付盗賊改方の与力や同郷の押上平地区は、鬼平の盗賊たち、事件にかかわる市井の人々の喜怒哀楽、田畑が豊富な土地

だっただけで、作品の舞台として登場するところが多。江戸切絵巻と現代の地図を付き合わせれば、エピソードの舞台になった場所を推定することもできる。同協会が今春実施している街歩きツアーは、鬼平川にかかる源兵衛橋を出発し、作品に登場する神社や橋を巡り、押上駅方面として作品に登場。この橋の名を聞けば、鬼平が「忍と鯉の剥身」ならん。登をあわせ、酔い酔いで和え場人物たちが度々立ち寄る「鯉の洗い」なる蕎麦屋さなだや、どが楽しめる。コースは他にもいろいろ設定。さなだや鬼平の作品にちなんだシリーズだけでなく、「本所・桜屋敷」コースレヒドラマ化された話題や「寒月六間堀」コースとなった短編「正月四日」などがあり、それぞれに「鬼平」の舞台でもある。鬼平の舞台でもある。鬼平の舞台でもある。鬼平の舞台でもある。



作品に三囲稲荷などとして登場する三囲神社

Happy anniversary!
開業一周年おめでとうございます。

東京スカイツリーオフィシャルショップ THE SKYTREE SHOP

東京スカイツリー®天望デッキ(350m)入場付コース大好評運行中!!